

2025年度 シラバス

科目名	香粧品化学	区分	必修	授業時数	40時間	対象学年	1年
担当教員	岩本 奥山 藤本	実務経験	無				
学修内容	香粧品化学の知識・理解を深め、美容師国家試験合格レベルの知識を習得する						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期筆記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は講義を中心に行う。中学・高校の化学を復習しながら、実生活と関連させつつ、理解できるように授業を進める。問題演習も含む。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	新しく得た知識を定着させるよう、復習を繰り返す						
使用教材	教科書(公益社団法人 日本理容美容教育センター)、配布プリント						
履修に当たっての留意点	高校までの学習内容に対し、不安を感じる場合は、より一層の努力が必要となる						

各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考
第1回	付録 基礎化学	物質の構成、構造を学ぶ	
第2回		溶解と溶解度を学ぶ	
第3回		コロイドを学ぶ	
第4回		イオンと水素イオン指数を学ぶ	
第5回		酸と塩基の定義と強弱を学ぶ	
第6回		緩衝作用と緩衝液を学ぶ	
第7回		物質の変化と化学反応を学ぶ	
第8回		酸化と還元の定義を学ぶ	
第9回		酸化剤と還元剤を学ぶ	
第10回		タンパク質を学ぶ	
第11回		ケラチンを学ぶ	
第12回	香粧品概論	社会的意義、品質特性、規制について学ぶ	
第13回		社会的意義、品質特性、規制について学ぶ	
第14回		香粧品の取り扱い上の注意を学ぶ	
第15回		香粧品と安全性を学ぶ	
第16回	香粧品用原料	香粧品の対象となる人体各部の性状を学ぶ	
第17回		香粧品の対象となる人体各部の性状を学ぶ	
第18回		水性原料（水、エタノール）を学ぶ	
第19回		水性原料（水、エタノール）を学ぶ	
第20回		油脂を学ぶ	

2025年度 シラバス

科目名	香粧品化学	区分	必修	授業時数	40時間	対象学年	1年
担当教員	岩本 奥山 藤本	実務経験	無				
学修内容	香粧品化学の知識・理解を深め、美容師国家試験合格レベルの知識を習得する						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期筆記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は講義を中心に行う。中学・高校の化学を復習しながら、実生活と関連させつつ、理解できるように授業を進める。問題演習も含む。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	新しく得た知識を定着させるよう、復習を繰り返す						
使用教材	教科書(公益社団法人 日本理容美容教育センター)、配布プリント						
履修に当たっての留意点	高校までの学習内容に対し、不安を感じる場合は、より一層の努力が必要となる						

各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考	
第21回	香粧品用原料	ロウ類、炭化水素を学ぶ		
第22回		その他の油性原料を学ぶ		
第23回		界面活性剤の基本的性質を学ぶ		
第24回		界面活性剤の基本的性質を学ぶ		
第25回		界面活性剤の種類を学ぶ		
第26回		界面活性剤の種類を学ぶ		
第27回		高分子化合物を学ぶ		
第28回		高分子化合物を学ぶ		
第29回		色材（無機顔料）を学ぶ		
第30回		色材（無機顔料）を学ぶ		
第31回		色材（タール色素、光輝性顔料、天然色素）を学ぶ		
第32回		香料を学ぶ		
第33回		防腐剤、殺菌剤、酸化防止剤を学ぶ		
第34回		保湿剤、紫外線吸収剤、収れん剤、特殊成分を学ぶ		
第35回		ネイル、まつ毛エクステンション用材料を学ぶ		
第36回		基礎化粧品	皮膚清浄用香粧品を学ぶ	
第37回			化粧水を学ぶ	
第38回			クリーム、乳液を学ぶ	
第39回			ベースメイクアップ香粧品を学ぶ	
第40回		メイクアップ用香粧品	ポイントメイクアップ香粧品を学ぶ	

2025年度 シラバス

科目名	化粧品化学	区分	必修	授業時数	20時間	対象学年	2年
担当教員	岩本 奥山 藤本	実務経験	無			コース	全コース
学修内容 到達目標	化粧品化学の知識・理解を深め、美容師国家試験合格レベルの知識を習得する 美容師国家試験合格および前後期筆記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は講義を中心に行う。中学・高校の化学を復習しながら、実生活と関連させつつ、理解できるように授業を進める。問題演習も含む。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的な内容	新しく得た知識を定着させるよう、復習を繰り返す						
使用教材	教科書(公益社団法人 日本理容美容教育センター)、配布プリント						
履修に当たっての留意点	高校までの学習内容に対し、不安を感じる場合は、より一層の努力が必要となる						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	1年生の復習	1年の復習をする					
第2回	頭皮毛髪用化粧品	シャンプー剤、ヘアリンス剤を学ぶ					
第3回		スタイリング剤を学ぶ					
第4回		パーマの原理・分類を学ぶ					
第5回		パーマ剤第1剤・第2剤を学ぶ					
第6回		一時染毛料、半永久染毛料を学ぶ					
第7回		脱色剤、脱染剤、永久染毛剤を学ぶ					
第8回		その他のヘアカラー製品・育毛剤を学ぶ					
第9回		芳香製品と特殊化粧品	芳香製品を学ぶ				
第10回	サンケア製品、美白化粧品、制汗防臭剤を学ぶ						
第11回	総復習	国家試験対策問題演習					
第12回		国家試験対策問題演習					
第13回		国家試験対策問題演習					
第14回		国家試験対策問題演習					
第15回		国家試験対策問題演習					
第16回		国家試験対策問題演習					
第17回		国家試験対策問題演習					
第18回		国家試験対策問題演習					
第19回		国家試験対策問題演習					
第20回		国家試験対策問題演習					